

# 研究インターンシップ

研究科共通科目	2単位
<b>講義概要</b> (目標) 研究の最先端の現場で、他機関の研究者や教員との意見交換や成果発表会での議論を通じて、課題探求能力、創造性豊かな研究能力、問題解決能力、表現能力等の向上をめざします。 (内容) 研究の最先端の職場において、取り組んでいる研究テーマの説明を受け、研究の一部を分担しながら研究の視野を広げてもらいます。実施場所は岩手連大と連携協定を結んでいる研究機関（東北農業研究センター、岩手生物工学研究センター、青森県産業技術センター、カナダ・サスカチュワン大学）をはじめ、主指導教員が申請し連大（代議員会）が認めた教育研究機関です。 インターンシップ期間終了後、研修先で体験した研究内容について大学でさらに最近の成果等の文献を読み、レポートを作成するとともに、研究インターンシップ報告会で報告、議論します。	
<b>評価の方法</b> 受講者の提出したレポート及び受入教員からの報告書を元に受講者の研究への取り組む姿勢や問題解決に向けた提言内容、成果発表会におけるプレゼンテーション能力を総合して評価を行います。	
<b>講義履修上の注意事項</b> <b>1. 研究インターンシップの実施要件</b> 1) 学生の配属先(大学および連携機関)と同一の研究機関や他の大学・研究機関であっても第2副指導教員の所属する研究室(部署)では研修できません。また、岩手連大との連携機関以外で研究インターンシップを希望する場合は、 <u>受入先の下承を得た上で、国外の機関はインターンシップ実施希望日の6ヵ月前まで、国内の機関は3ヶ月前までに指導教員及び連大事務室に相談してください。</u> 2) 研修期間：国内、国外ともに、研究インターンシップの期間は2週間(土日を除く10日間)以上が必要です。ただし、サスカチュワン大学での研修は、受け入れの都合上3週間が標準となっています。 3) 研修の内容：研究インターンシップは、研究の一部を分担しながら研究の視野を広げてもらふことを目的にしていますので、研修先での学位論文研究の調査や実験は、研修の内容に含まれません。  ただし、上記の研修目的が達成されているのであれば、副次的に学位論文研究に関わる調査や実験を研修先で行うことは差し支えありません。 * 研究インターンシップを受講する際は学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険への加入を義務づけていますので、必ず加入してください。 * 詳しいインターンシップの流れについては48～53ページをご覧ください。 * 旅費の支給額・範囲については64ページをご覧ください	

# サスカチュワン大学での研究インターンシップの流れ

※旅費の支給や受入側の条件もあるため、連大で事前に参加者を調整します。

①募集要項をHPで公表（11月頃）

②応募書類を  
連大事務室へ提出

連大事務室

③応募者の情報をサスカチュワン大に伝え、受入側の条件を主として最終的に参加者を3名程度絞り込む。

④選考結果を通知（2月頃）

学生

⑤派遣前に英語力強化講習・海外研究インターンシップ説明会を実施（実施1ヶ月前）  
※留学生は速やかにビザの手続きをしてください。

⑥インターンシップの実施（6～8月頃）  
終了時に受入先の指導教員からインターンシップ実施報告書を作成してもらう。

サスカチュワン  
大学

⑦11月の報告会で発表後、下記の書類を1ヶ月以内に主指導教員に提出。  
・研究インターンシップ実施報告書（様式3）  
・受入教員の報告書

教員

⑧成績評価後、下記の書類を連大事務室に提出。  
・成績報告書  
・学生からの研究インターンシップ実施報告書  
・受入教員の報告書